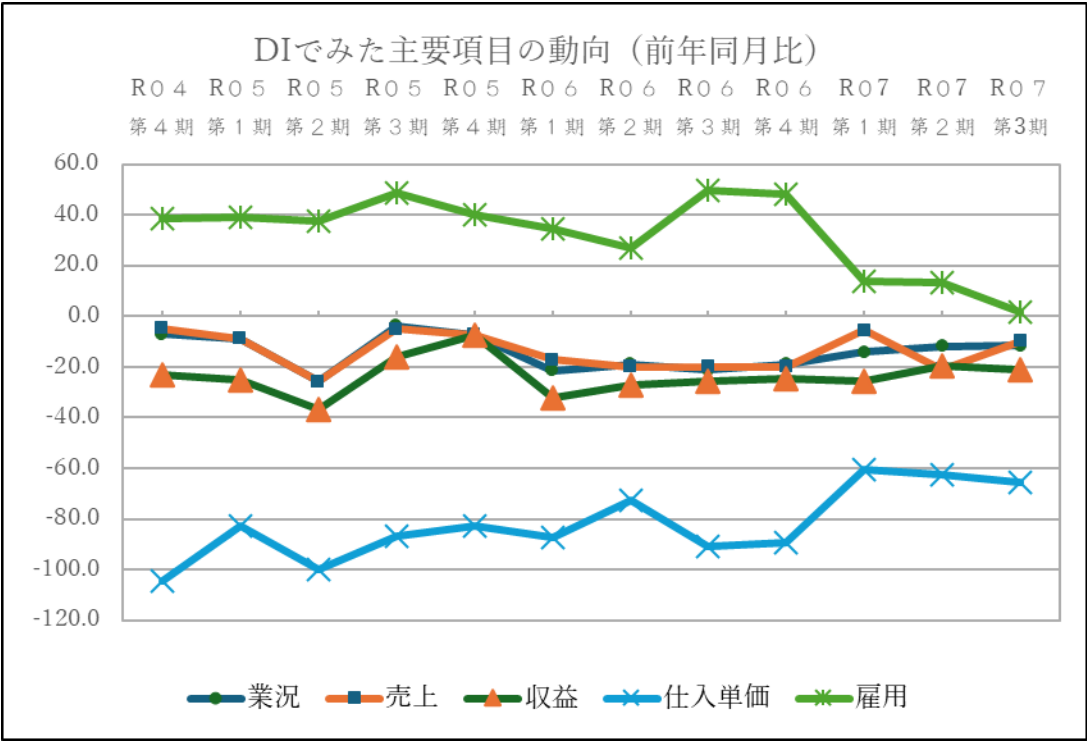


景気動向調査 令和7年度・第3期（令和7年10月～令和7年12月）

調査概要

調査対象:赤穂商工会議所管内 78社
回収:61社 回収率:78. 2%
調査対象期間:令和7年10月～令和7年12月(令和7年度・第3期)
DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。
補足：本年度より中小機構の「中小企業景況調査」に参加した関係で調査対象・調査項目が大幅に変更となりました。令和6年第4期以前の記録は参考値として掲載しています。

調査結果のポイント



*令和6年第4期以前は参考値

全産業合計DI

区分	R7第2期 (R7年7月～9月) * 前年同月比	R7第3期 (R7年10月～12月) * 前年同月比	R7 第3期 今期のみの業績
業況	△11.9	△11.5	△14.8
売上	△20.9	△9.8	
収益	△19.4	△21.3	+24.6
仕入単価	△62.7	△65.6	
雇用	13.4	1.6	

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況(前年同月比)をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R7 年2期)に比べ0.4ポイント上昇の△11.5となった。売上DIは11.1ポイント上昇の△9.8、収益DIは1.9ポイント下降の△21.3となり、また仕入単価は2.9ポイント下降で△65.6、雇用DIは11.8ポイント下降の1.6となった。

○また、今期のみの業績(比較なし)については、全産業合計の業況DIは△14.8、収益は+24.6となった。

産業別売上DI

区分	前年同月比				
	R6 第3期	R6 第4期	R7 第1期	R7 第2期	R7 第3期
全体	△20.0	△20.0	△5.6	△20.9	△9.8
建設業	△50.0	△25.0	△9.1	△9.1	△18.2
製造業	0.0	△18.2	5.9	△13.3	△13.3
卸売業	0.0	0.0	11.1	△22.2	△12.5
小売業	△40.7	△34.6	△29.4	△52.9	0.0
サービス業	20.0	33.3	0.0	0.0	△7.1

*R6 第4期以前は参考値

○産業別の売上DIは前回調査(令和7年1期)と比較すると、卸売業が+9.7(△12.5ポイント)、小売業が+52.9(0.0ポイント)で改善。製造業が不変(△13.3ポイント)、建設業が△9.1(△18.2ポイント)、サービス業が△7.1(△7.1ポイント)で悪化となった。

経営上の問題点 (上位3項目)

区分	R6 第3期	R6 第4期	R7 第1期	R7 第2期	R7 第3期	前回調査比
従業員の確保	23.3	22.4	24.4	27.2	28.3	+1.1
原材料高	18.9	17.6	16.5	16.6	18.1	+1.5
需要の停滞			9.3	7.5	10.2	+2.7

*R6 第4期以前は参考値

○事業所からのコメント

建設業：日本人の労働力が不足している

製造業：従業員の平均年齢が高いため、怪我や病気、設備の管理に気をつけたい。

<参考>

有効求人倍率

区分	R7.8月	R7.7月	R7.6月
一般(常用)	0.79	0.81	0.76
パート(常用)	0.59	0.66	0.65
一般+パート(全合計)	0.70	0.74	0.71

